

琵琶湖（赤野井湾）湖底の プラスチックごみ実態把握調査について



滋賀県琵琶湖環境部
琵琶湖保全再生課

琵琶湖のプラスチックごみ実態把握調査概要

調査の目的および概要

湖底ごみの把握は初

- マイクロプラスチックの発生源の一つとなっているプラスチックごみに関して、その**効果的な削減対策等を検討するため**、琵琶湖の**湖底ごみ**(プラスチックごみ)の実態把握を行った。
(赤野井湾再生プロジェクト主催の「びわこ湖底ごみ回収大作戦」で回収した湖底ごみを、滋賀県が調査した)

作業の様子

胴長で湖に入り、湖底ごみを回収

回収したごみをクレーンで陸へ

陸上で、ごみの洗浄および分別を実施



ごみの分別状況

袋類



農業系



ペットボトル



トレイ・容器類



その他プラ



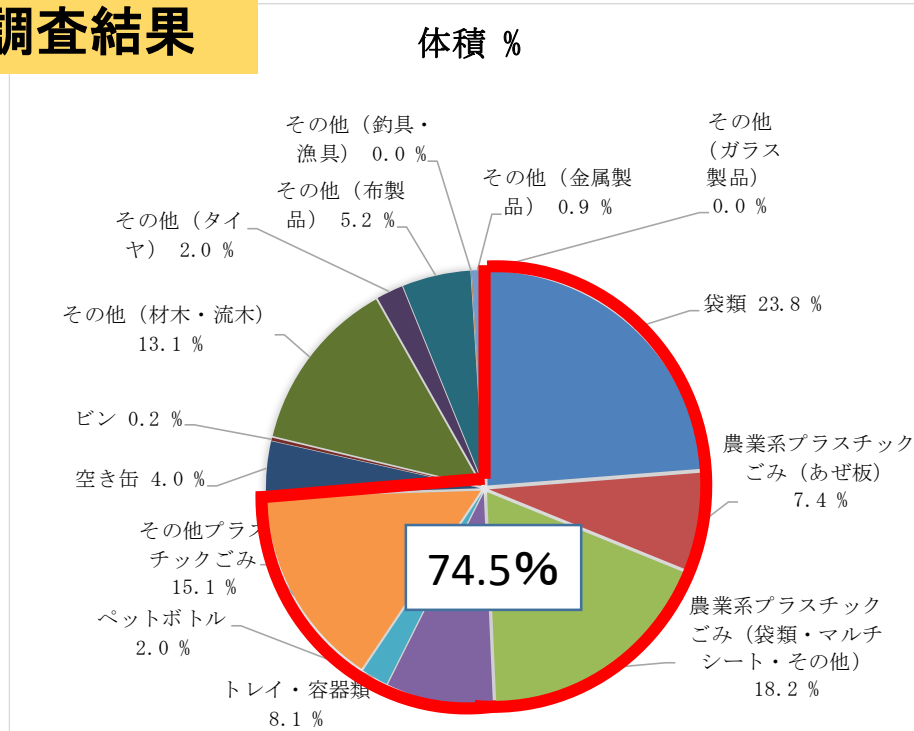
実施日: 令和元年6月23日(日)
参加者数: 186人
場所: 守山市赤野井湾

その他のごみ

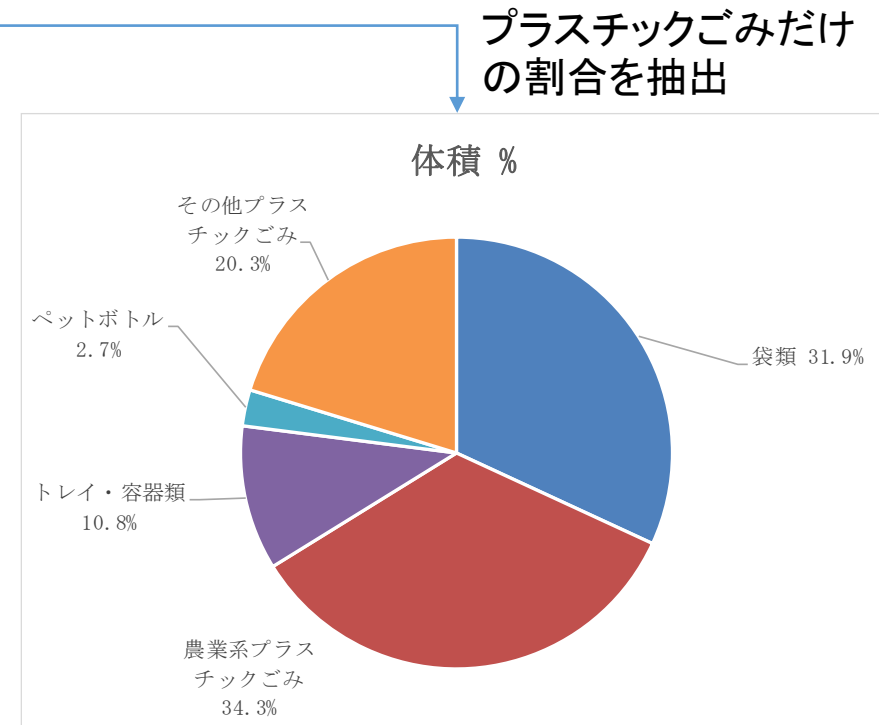


調査結果について

調査結果



湖底ごみ全体の内訳(体積)



プラスチックごみの内訳(体積)

- プラスチックごみの割合は体積比で74.5%となっており、湖底ごみにプラスチックごみが多いことが分かった。
- プラスチックごみの内訳は、袋類、農業系プラスチックごみが多く、ペットボトルは少ない結果となった。
- 回収した湖底のプラスチックごみには、長期間残留しているものもあった。

調査結果から想定される湖底のプラスチックごみ流出シナリオ

関連事例

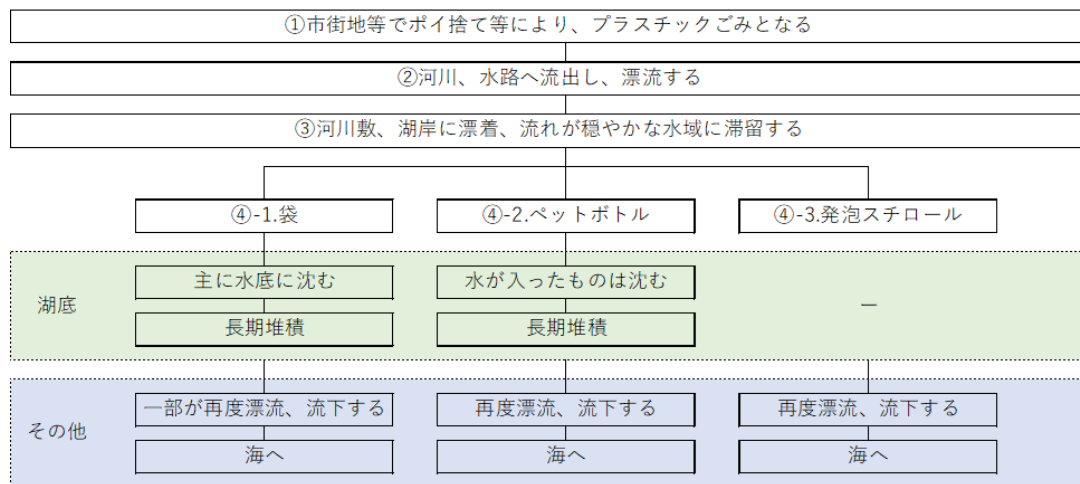
- ◆ 漂着ごみには、プラスチックごみが多くを占め、内訳ではペットボトルや袋が発泡スチロールや漁具とともに多い。
- ◆ 海底ごみでも、プラスチックごみが多くを占め、レジ袋が漁具とともに多い。
- ◆ 袋やペットボトルなど、散在性のプラスチックごみの発生源について、地域間の差異は明確でなかった。
- ◆ 農業系のプラスチックごみの発生は、地域に特徴づけられた要因よりも、個別の農地におけるプラスチックごみの管理状況に影響されていることが想定される。

対策の方向性

本調査の結果を踏まえて、琵琶湖への新たな流入につながる散在性のプラスチックごみの発生を抑制するためプラスチックごみに係る対策を総合的に進めることが効果的と考えられる。

<袋、ペットボトル等>

- 発生状況は、散在性のプラスチックごみ。
- 発生場所については、特段の地域特性は見られない。



<農業系プラスチックごみ>

- 発生源状況は、屋外使用のプラスチックの荒天での流出。
- 発生場所は、個々の農地。

